

環境経営レポート

2023 年度



〒807-0061 福岡県北九州市八幡東区西本町 3-6-2-1401

tel.093-662-8551 / fax.093-330-4362

URL : <https://bills2018.net>

作成日 2024 年 7 月 30 日

✿ 1. 組織の概要

収集運搬業【許可・登録内容】

✿ 2. 組織体制及び認証・登録範囲

✿ 3. 環境経営方針

✿ 4. 2023 年度及び中期環境目標

✿ 5. 2023 年度

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果

✿ 6. 2024 年度 環境経営計画

✿ 7. 環境活動の紹介

✿ 8. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟の有無

✿ 9. 代表者としての思い

環境活動への全体の評価と見直し・指示

1. 組織の概要

【 事 業 者 名 】	株式会社ビルズ 代表取締役 近岡 敦
【環境管理責任者】	取締役 末松 幹一郎
【 所 在 地 】	本 社：福岡県北九州市八幡東区西本町 3-6-2-1401 本部事業所：福岡県鞍手郡鞍手町古門 660-1 熊本営業所：熊本県菊池市泗水町永 2757-2
【 連 絡 先 】	TEL 093-662-8551 FAX 093-330-4362
【 E - m a i l 】	info@bills2018.net
【 S N S 】	HP http://bills2018.net Instagram https://www.instagram.com/bills.industrialwaste/
【 事 業 の 概 要 】	産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業
【 事 業 の 規 模 】	設立年月日：2018 年 4 月 資本金：2,000,000 円 売上高：242,550,540 円（2024 年 3 月期） 収集運搬量：1086.96 t（2023 年度） 従業員数：18 名（2024 年 6 月 1 日 現在）

【保有車両】

車両登録番号	型 式	形 状	車検有効年月日	最大積載量 (kg)	長 さ (cm)	幅 (cm)	高 さ (cm)
筑豊 430 の 10-01	DBF-VY12	バン	令和 6 年 10 月 11 日	450	439	169	150
筑豊 400 セ 29-77	ADF-VWE25	バン	令和 7 年 4 月 19 日	1,200	469	169	199
筑豊 400 セ 21-30	QDF- KDH201V	バン	令和 7 年 6 月 8 日	1,250	469	169	197
筑豊 430 つ 20-21	QDF- KDH201V	バン	令和 6 年 8 月 23 日	1,200	469	169	197
筑豊 400 た 20-22	QDF- KDH201V	バン	令和 7 年 1 月 24 日	1,200	469	169	197
筑豊 800 さ 60-86	BKG- NHR85AN	冷蔵冷凍車	令和 7 年 5 月 12 日	1,500	489	178	238
筑豊 800 さ 61-31	BKG- NHR85AN	冷蔵冷凍車	令和 6 年 8 月 5 日	1,500	501	189	280
筑豊 130 さ 20-23	2RG- NLR88AN	バン	令和 7 年 2 月 20 日	2,000	505	188	258
筑豊 100 さ 75-26	BDG-XZU414	バン	令和 6 年 10 月 3 日	3,000	629	219	296
筑豊 130 さ 20-22 (4 t)	2RG FRR90T2	バン	令和 6 年 8 月 20 日	2,350	861	249	347
筑豊 400 セ 8-19	KG-SR4F23	キャブオーバ	令和 6 年 8 月 9 日	1,500	469	169	194
筑豊 400 セ 18-67	BDG-XZ308	キャブオーバ	令和 6 年 12 月 22 日	2,000	469	169	197
筑豊 400 セ 31-45	BKG-NJR85A	キャブオーバ	令和 6 年 12 月 2 日	2,000	465	169	196
筑豊 100 さ 84-71	BDG- NPR85AR	キャブオーバ	令和 6 年 9 月 23 日	3,000	684	210	228
筑豊 130 さ 7-25	TPG-FEB80	キャブオーバ	令和 7 年 7 月 10 日	3,500	632	220	233
筑豊 400 セ 42-73	CBF-VR2E26	バン	令和 7 年 4 月 26 日	1,250	469	169	197
筑豊 400 セ 42-74	CBF-VR2E26	バン	令和 6 年 11 月 20 日	1,250	469	169	197
筑豊 480 く 70-40	EBD-DA64V	バン	令和 8 年 1 月 25 日	350	339	147	187
筑豊 500 ほ 5-13	TKG- FRR90T2	バン	令和 7 年 5 月 29 日	2,450	873	249	349

筑豊 100 さ 26-99	U-FD3HGAA 改	キャブオーバ	令和 6 年 10 月 31 日	2,750	610	218	265
筑豊 430 す 20-24	2 TG- NJR88AF	キャブオーバ	令和 8 年 6 月 18 日	2,000	469	169	199
筑豊 11 リ 68	KC-FU519TZ	ダンプ	令和 7 年 6 月 14 日	12,900	1132	249	347
筑豊 300 に 68-84	DAA-ZVW30	箱型	令和 7 年 9 月 11 日				
筑豊 500 ほ 55-13	DAA-NHP10	箱型	令和 7 年 10 月 17 日				
筑豊 330 リ 20-22	ZAA-3 L13T	箱型	令和 7 年 8 月 4 日				

【登録内容】

	都道府県	積み替え保管	許可の年月日	許可の有効年月日	許可番号
特別管理産業 廃棄物収集運搬業	福岡県	無	平成 30 年 10 月 3 日	令和 10 年 10 月 2 日	4050203577
	山口県	無	令和 3 年 6 月 15 日	令和 8 年 6 月 14 日	3550203577
	佐賀県	無	令和 2 年 11 月 10 日	令和 7 年 11 月 9 日	4151203577
	長崎県	無	令和 3 年 7 月 19 日	令和 8 年 7 月 18 日	4250203577
	大分県	無	令和 1 年 12 月 26 日	令和 6 年 12 月 25 日	4458203577
	熊本県	無	令和 2 年 10 月 14 日	令和 7 年 10 月 13 日	4355203577
	宮崎県	無	令和 4 年 2 月 4 日	令和 9 年 2 月 3 日	4559203577
	鹿児島県	無	令和 4 年 2 月 1 日	令和 9 年 1 月 31 日	4653203577
産業廃棄物 収集運搬業	福岡県	無	平成 30 年 10 月 3 日	令和 10 年 10 月 2 日	4000203577
	山口県	無	令和 3 年 6 月 15 日	令和 8 年 6 月 14 日	3500203577
	佐賀県	無	令和 1 年 5 月 28 日	令和 11 年 5 月 27 日	4101203577
	長崎県	無	令和 1 年 7 月 8 日	令和 6 年 7 月 7 日(更新中)	4200203577
	大分県	無	令和 1 年 12 月 26 日	令和 6 年 12 月 25 日	4408203577
	熊本県	無	令和 1 年 7 月 8 日	令和 6 年 7 月 7 日(更新中)	4305203577
	宮崎県	無	令和 4 年 2 月 4 日	令和 9 年 2 月 3 日	4509203577
	鹿児島県	無	令和 4 年 2 月 1 日	令和 9 年 1 月 31 日	4603203577



【許可内容】

種 類 許可を受けた 県名	許可品目																その他	
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産業廃棄物	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ダスト類（ばいじん）	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	積替保管施設の所在地及び面積許可の条件
福岡県			○	○	○	○												
山口県			○	○	○	○												
佐賀県			○	○	○	○												
長崎県			○	○	○	○												
大分県			○	○	○	○												
熊本県			○	○	○	○												
宮崎県			○	○	○	○												
鹿児島県			○	○	○	○												
福岡県	●	●	●	●	●		●	●	●	●				●	●	●	●	
山口県	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
佐賀県	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
長崎県	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大分県	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
熊本県	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
宮崎県	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
鹿児島県	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

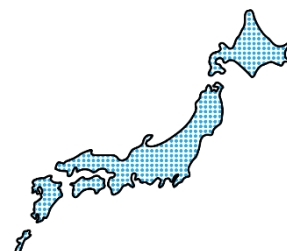
○ 特別管理産業廃棄物収集運搬の許可種類

● 産業廃棄物収集運搬の許可種類

※当社の収集運搬許可につきましては【産廃情報ネット】よりご確認ください。

【当社の事業年度】 4月1日～3月31日

【認証・登録範囲】 全組織・全活動を対象とする

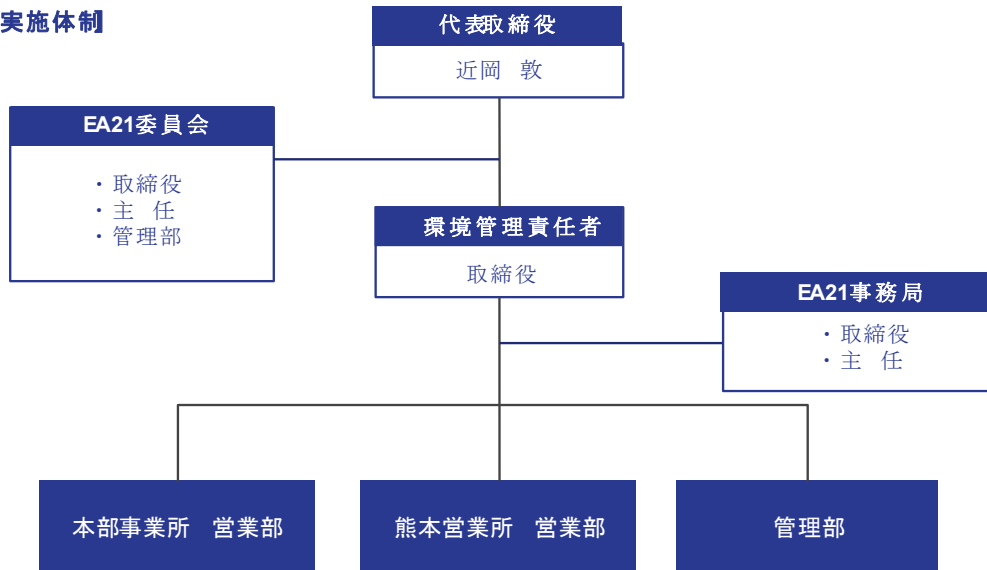


2. 組織体制及び認証・登録範囲

(1)環境経営組織図及び認証・登録範囲

【株式会社ビルズ】

【EA21実施体制】



2022.12.26 作成

(2)エコアクション 21 の実施体制

氏名	所属（役職）	役割・責任・権限・使命
近岡 敦	代表者 (代表取締役社長)	全体の総括、経営における課題とチャンスを整理・明確化、環境方針の設定、実施体制の構築、環境への取組みを実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
未松 幹一郎	環境管理責任者 (取締役)	全体の把握、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
	EA 2 1 委員会	1 ヶ月に 1 回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
	EA 2 1 事務局	EA21 文書及び記録類の作成・維持・管理
	本部事業所	電力・水使用量、車燃料（ガソリン・軽油）、産業廃棄物運搬量の管理
	熊本営業所	電力・水使用量、車燃料（ガソリン・軽油）、産業廃棄物運搬量の管理
	管理部	電力・水使用量の管理

3. 環境経営方針

環境経営方針

【基本理念】

株式会社ビルズは、地球環境の改善を重要な課題と位置づけ、産業廃棄物収集運搬業の活動を通して、従業員全員が主体的に意識して、環境への負荷低減に積極的に取り組みます。

そのためエコアクション21に基づく環境経営システムを構築・運用することにより継続的かつ着実に環境保全活動を行い、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

【行動指針】

環境経営システムを構築・運用し継続的な取り組みを進めるため、この行動指針に基づき、環境経営目標及び環境経営活動計画等を定め、実効性のある活動を展開します。

環境経営の定期的な見直しを行い、継続的改善を誓約します。

1. エコドライブを実施して二酸化炭素の排出量を削減します。
2. 廃棄物の分別を推奨、提案し廃棄物を削減します。
3. 水資源の節減に努め水使用量を削減します。
4. 排出事業者にサービスの提供を行うとともに顧客の声を取入れ、顧客満足を目指し環境経営に繋がる仕組みを確立します。
5. 事業活動に関連する環境関連法令や条例を遵守します。
6. この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、研修や教育を行い環境保全に向けた意識の向上に努めます。
7. この環境経営方針は広く一般に公表します。

制定日 2022年10月1日

株式会社ビルズ

代表取締役 近岡 敦

4. 2023 年度及び中期環境目標

1. 環境経営目標

(1) 2023 年度及び長期環境目標

環境目標	単位	基準年度	目標		
		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
二酸化炭素	kg-CO ₂	128045.5	127,408 (0.5%削減)	126,768 (1.0%削減)	126,128 (1.5%削減)
※電力使用量の削減	kWh	10,939	10,884 (0.5%削減)	10,830 (1.0%削減)	10,775 (1.5%削減)
ガソリン使用量の削減 (燃費で管理)	km/ℓ	19.40	19.50 (0.5%向上)	19.59 (1.0%向上)	19.69 (1.5%向上)
軽油使用量の削減 (燃費で管理)	km/ℓ	9.50	9.50 (0.5%向上)	9.54 (1.0%向上)	9.59 (1.5%向上)
一般廃棄物排出量の削減	kg	115.6	115.0 (0.5%削減)	114.4 (1.0%削減)	113.9 (1.5%削減)
水使用量の削減	m ³	71	70.6 (0.5%削減)	70.3 (1.0%削減)	69.9 (1.5%削減)
会社周辺の清掃	回	12 回/年	1 回/月	1 回/月	1 回/月

PRTR 該当の化学物質は使用していないので目標に取り上げていない。

二酸化炭素排出係数は 2021 年度九州電力の調整後排出係数 0.382(kg-CO₂/kWh)を使用。

※電気使用量のデータは、本部事業所倉庫分のデータを 2022.8 より集計し始めため、基準となる 3 か月を 2022.10～2022.12 としている。(2022.10～2022.12 実績 3335 kWh 使用→年間 13,340 kWh 見込)

自社で発生する産業廃棄物はない

5. 2023 年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果

1.二酸化炭素排出量削減

1.1 環境目標の達成状況と評価

環境目標		2023 年度			目標達成判定
		目標	実績	対目標比	
二酸化炭素排出量の削減 (kg-C O ₂)	0.5%削減	127,408	161,043.5	126.4%	×
電気使用量の削減(kWh)	0.5%削減	10,884	15,133	139.0%	×
ガソリン使用量の削減・ 燃費の向上(km/L)	0.5%向上	19.50	15.3	78.3%	×
軽油使用量の削減・燃費の 向上(km/L)	0.5%向上	9.50	8.9	103.2%	×
評価者（評価月）		2024/7/26			
評価（原因分析）		【二酸化炭素の排出量の削減】 ・燃料の使用量が昨年より産業で 2444.8ℓ、医療で 266.4ℓ 増加、また、電気使用量が 2022 年度より 2607kw 増加。 - 結果として、全体量が増加しているため、おのずと CO₂排出量が増加している。 ・電気使用量・車両燃料の使用量増加に伴う PDAC サイクルの検証が不十分で結果等の通知が出来ておらず各エネルギーの削減ができていなかった。 【電気使用量の削減】 ・鞍手事業所 1F 部分で、月平均約 90kw ずつ使用量が増加、また、倉庫の電気使用量を 2022 年 8 月より計測開始したため、その分が増加原因の一つとなっている。 ・真の原因追及が出来ておらず、削減活動に活かせていなかった。 【ガソリン使用量の削減】 ・目標値より 4.2 km/ℓ 下回った。極端に燃費の悪い車両があった。そのため、ガソリン車についての燃費は達成できなかったと考えられる。 【軽油使用量の削減】 ・目標値より 0.6 km/ℓ 下回った。 - 各月の燃費で比較するとさほどの増減は見られないが、全体の合計としての走行距離に対する給油量が増加しているのが原因と考えられる。 ・車両の使用状況が変わっているが検証を怠った為に原因追及が不十分だった。			

目標達成判定基準 ○：達成、×：未達成

1.2 環境経営計画の実施状況と評価

目標	活動項目	実施状況	2023 年度
			評価
電気使用量の削減	・エアコンの温度を決め、実行する	×	・電気使用量に関しては、人員増加による使用時間なのか、使用場所などの無駄な使用ありなのか、エアコン設定温度の周知ができていたのかなど、詳細な原因追及ができておらず、その後の活動に活かせていなかった。 ・節電に関しての協力や周知、使用量の通知など資料の公表等を行っておらず、今後意識をしてもらうように電気使用量や資料の公表を行い、意識をもって削減をしてもらえるよう整えていく。
	・昼休みの消灯	×	
	・残業時間の不要な照明の消灯	○	
	・長時間、席を離れる時、パソコンの電源を OFF	○	
	・省エネエアコンの導入	×	
	・不要電力消費抑制	×	
燃料使用量の削減・燃費／ガソリン	・省エネドライブの励行	×	・目標値より 4.2 km/ℓ 下回った。 ・目標設定時ハイブリッド車が多かったが、ガソリン仕様の回収用の保冷車（キャラバン）増車、活用により燃費が大幅に下がった。 (42-73 2023 年 1 月燃費 7.8、2 月燃費 7.8 42-74 2023 年 1 月燃費 6.9、2 月燃費 4.8) これにより大幅に燃費がダウン。 ・エコドライブ通達のみだったので再度資料や会議で教育を行って意識を高める。
	・アイドリングストップ手順を決め、実行する	×	
燃料使用量の削減・燃費／軽油	・省エネドライブの励行	×	・軽油車両に関しては、目標値より 0.6 km/ℓ 下回った。 2023 年度全体の走行距離約 2000 km 上昇に対し、給油量が約 4000 ℓ 増加している。燃費自体はさほどの増減はないが、全体の合計として給油量が増えているためこのような結果となったと考えられる。 ・エコドライブ通達のみだったので再度資料や会議で教育を行ってさらに意識を高める。
	・アイドリングストップ手順を決め、実行する	×	
	・配車計画の合理化	○	
	・高速道路の利用	○	
	・波状運転をしない	○	
評価者(評価月)		2024/7/26	2024/7/26

2.廃棄物排出量の削減

2.1 環境目標の達成状況と評価

環境目標		2023 年度			目標達成判定
		目標	実績	対目標比	
一般廃棄物排出量の削減(kg)	0.5%削減	115.0	102	88.7%	○
評価者(評価月)		2024/6/17			
評価(原因分析)		・目標達成。前年比（2022 年度排出量 115.5kg）でも約 12%削減できている。分別、再利用などの意識の向上の結果と考察される。今後も削減できるように取り組む。 ・廃棄物排出量削減の為、分別を徹底し、3 R 活動を実施。			

目標達成判定基準 ○：達成、X:未達成

2.2 環境活動計画の実施状況と評価

感興目標	活動項目	2023 年度
		評 価
一般廃棄物排出量の削減	使い捨て製品(紙コップ等)の使用や購入を抑制する。	・前年比より約 1kg、多い月で約 4kg 一般廃棄物の排出を削減できている。紙コップ等の使用を控え、マイグラス使用を励行している結果と考察される。
コピー用紙購入量の削減	コピー用紙の使用量を削減	・コピー用紙裏面を再利用することで、使用量の削減に繋がった。 具体的数値（使用 kg 数、廃棄 kg 数、リサイクル kg 数など）を測定していないため、今後は数値化でどのくらい廃棄の削減になっているかを追っていく。
記録者(評価月)		2024/5/17

実施状況判定基準 ○：実施、X:未実施

3.水使用量の削減

3.1 環境目標の達成状況と評価

環境目標		2023 年度			目標達成判定
		目標	実績	対目標比	
水使用量の削減(m3)	0.5%削減	70.6	116.0	164%	×
記録者(評価月)		2024/5/17			
評価(原因分析)		・2023 年 8 月に本部事業所にて漏水（約 15～16 m³）発生。 ・鞍手事業所常駐社員の増加により使用量が増加（約 2～3 m³/月） ・水素水の社員持ち帰りによる使用量増加（約 1 m³/月）			

目標達成判定基準 ○：達成、X:未達成

3.2 環境活動計画の実施状況と評価

目標		2023 年度
		評 価
水使用量の削減	水を出しっぱなしにしない	・目標を達成する事ができなかった。 ・水使用量の見える化を行い節水意識を高める。 ・漏水チェックを定期的に行う。
	こまめな節水	
記録者(評価月)		2024/5/17

実施状況判定基準 ○：実施、X:未実施

4.会社周辺の清掃

4.1 環境目標と活動計画の達成状況及び実施状況とその評価

目標	活動項目	2023 年度
		評 価
会社周辺の清掃	会社周辺の清掃 (1 回/月)	・毎月、草刈り等、ゴミ拾いの活動を継続して綺麗な状態を保つよう取り組みを行った。 ・また、拾ったゴミに関してどれくらいの量を拾ったかのデータ取りを行い、数値化していく。
記録者(評価月)		2024/5/17

6. 2024 年度 環境経営計画

1. 二酸化炭素総排出量の削減

取組目標		活動項目	活動計画			
			1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月
1	電力使用量の削減	・ エアコン設定温度を決め、実行する	実行			
		・ 昼休みの消灯				
		・ 残業時間の不要な照明の消灯				
		・ 長時間、席を離れる時、パソコンの電源 OFF				
		・ 省エネエアコンの導入	調査・見積	随時導入		
		・ 不要電力消費抑制	実行			
2	燃料使用量の削減/ ガソリン	・ エコ(省エネ)ドライブの励行	実行			
		・ アイドリングストップ手順を決め、実行する				
3	燃料使用量の削減/ 軽 油	・ エコ(省エネ)ドライブの励行	実行			
		・ アイドリングストップ手順を決め、実行する				
		・ 配車計画の合理化				
		・ 高速道路の有効利用				
		・ 波状運転をしない				

2. 一般廃棄物排出量の削減

取組目標		活動項目	活動計画			
			1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月
1	一般廃棄物排出量の削減	・ 使い捨て製品（紙コップ等）の使用や購入の抑制	実行			
		・ コピー用紙購入量の削減(ペーパーレス化実施)				

3. 水使用量の削減

取組目標		活動項目	活動計画			
			1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月
1	節水活動	・ 水を出しっぱなしにしない	実行			
		・ こまめな節水				
		・ 定期的な漏水のチェック（1 回/月）				

4. 会社周辺の清掃

取組目標		活動項目	活動計画			
			1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月
1	会社周辺の清掃（1 回/月）	・ 月に 1 回、会社周辺の清掃を行う	実行			

社員一丸となって環境活動への取り組みを行っております！

7. 環境活動の紹介

▼避難場所までのルート清掃活動を実施



▼グリーンカーテン作りをスタート



▼産廃協会の清掃活動に参加



消火訓練だけではなく、
消防署への通報訓練や
避難訓練を実施。

▼避難訓練・消火訓練の実施



▲経営理念とハザードマップの掲示

8. 環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟の有無

環境関連法規などの一覧（廃掃法、消防法等）及びそれらの遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。

環境関連法規への違反もなく、関係者局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟などありませんでした。

9. 代表者としての思い、環境活動への全体評価と見直し・指示

エコアクション 21 取得後、社員の環境意識の向上に効果を実感しているが、委員会メンバーによる PDCA を活用した検証を習慣化できていないことが今回の目標未達となっていると感じる。

社業の発展に伴い、増加するエネルギー使用量が適正なのか、エコアクション 21 の管理する仕組みを良く理解し、社員に対して数字で説明を行い、目標達成を一丸となって取り組むリーダーシップ体制も委員会に必要だと思います。

来年の目標達成に向けて、毎月 1 時間集まって行っているミーティングを有効に活用して、月単位での検証を確実に行う事と社員への具体的な指示をお願いしたい。